

沖縄県中学校総合体育大会における複数校合同チーム編成規程

1 趣 旨

学校単独では出場最低人数に足りずチーム編成ができない場合、双方の学校長の判断により近隣の中学校と合同でチームを編成し、大会参加ができるようにすることを目的とする。
このことは少子化に伴う少人数の運動部に大会参加の機会を与えようとするものであり、競技力向上を第一の目的とする合同チームには適用されない。

2 条 件

- (1) 合同する各部は、それぞれの学校教育計画に基づいて活動していること。
- (2) 合同チームは同一地区内の2校で編成するものとする。
- (3) 合同チームは双方の学校が責任をもって顧問をつけ、可能な限り定期的な活動を行っている場合に限る。
- (4) 合同チームは、地区専門部の審議を経て地区中体連会長が編成が適正であると認めた場合に限る。
- (5) 合同チームは、個人戦を行わない下記の団体競技（6競技）において編成を認める。出場最低人数は次のとおりとし、在籍部員数がこの人数を下回った場合を原則としてのみ合同チームを編成することができる。 ※別添「合同チーム編成基準例」参照

競 技 名	人数	競 技 名	人数	競 技 名	人数
バスケットボール	5	サ ッ カ ー	11	ハ ン ド ボ ール	7
軟 式 野 球	9	バ レ ー ボ ール	6	ソ フ ト ボ ール	9

※人数の偏り、学校事情による合同の解消等についても柔軟に対応すること。（前年度県大会以降に複数合同チームの実績があるものについては、当年度についても、地区中体連会長の承認がある場合、引き続き複数合同チームを編成して県大会に参加することができる。）

- (6) 単独で出場最低人数を満たさないA・B2校同士による合同チームの編成以外に、単独で出場最低人数を満たさないAチームは、他校で出場最低人数を満たしているBチームから登録枠内で人数を補充して合同チームを編成することができる。その際、Bチームは単独でベストメンバーを編成したのち、それ以外のメンバーでAチームとの合同チームを編成するものとする。（※別添「合同チーム編成基準例」参照）
- (7) 大会参加時の選手起用においては、合同母体校（少人数校）の選手全員が出場できるよう配慮を行うことを原則とする。
- (8) 合同チームの引率は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。監督等は出場校の校長・教職員（常勤）・部活動指導員とする。但し、大会参加に際してベンチ入りをする監督等は、両校のうちいずれかの校長・教職員が代表し（部活動指導員は代表監督にはなれない）、コーチについても両校いずれかのコーチ（登録外部指導者含む）とする。（A校教職員を監督・B校教職員をコーチとしての大会参加も可）
- (9) ユニホームのチーム統一や校名連記の表示については義務付けない。（原則として、各競技規則に準ずるが、可能な限り緩和措置を行うものとする。）
- (10) 合同チームが入賞した場合、賞状は校名連記で双方の学校に与える。
- (11) 同地区で、どうしても2校で合同チームを作れない場合、特例として3校合同編成を認める。

3 大会参加申込手続き

合同チーム編成による大会参加を承認された両校の校長が合意の上、代表校長が所定の様式により地区中学校体育連盟を通じて行う。

4 大会出場までの手順

合同チーム編成による大会参加の登録申請手続から承認までの手順については、別に規程を定める。 ※別添「登録申請・承認規程」参照

附則1 本規程は、平成15年2月28日これを制定。平成15年度、16年度を試行期間とし、

平成17年度沖縄県中学校総合体育大会より実施とする。

- 2 平成18年5月12日一部改正〔2（8）〕
- 3 平成30年2月23日一部改正〔2（8）〕、条文挿入〔2（11）〕
- 4 令和5年5月（ ）日一部改正〔2（5）〕